

経営比較分析表（令和3年度決算）

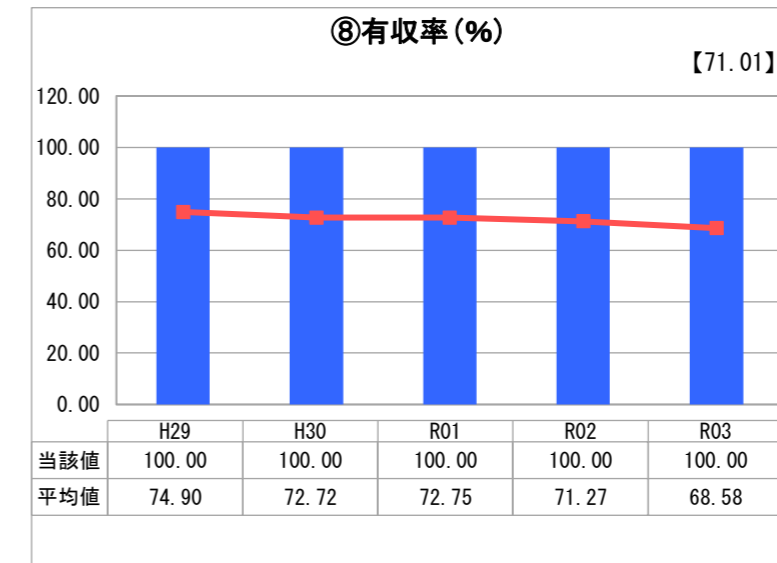
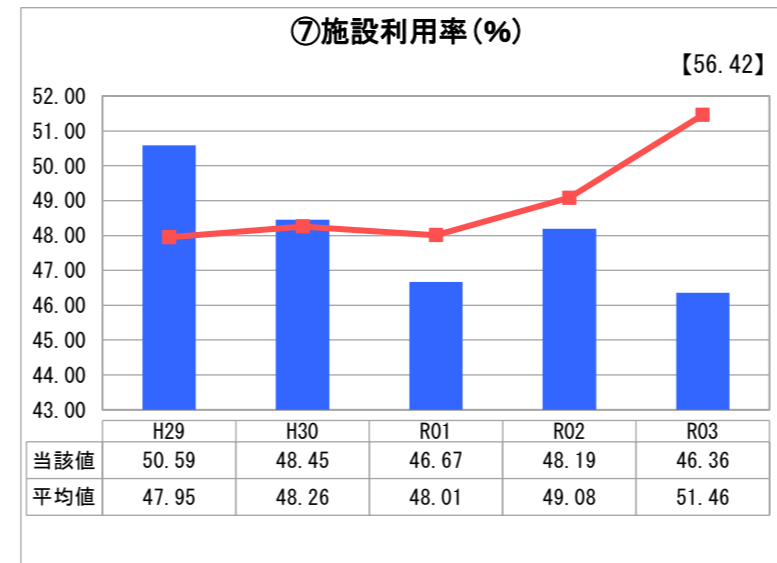
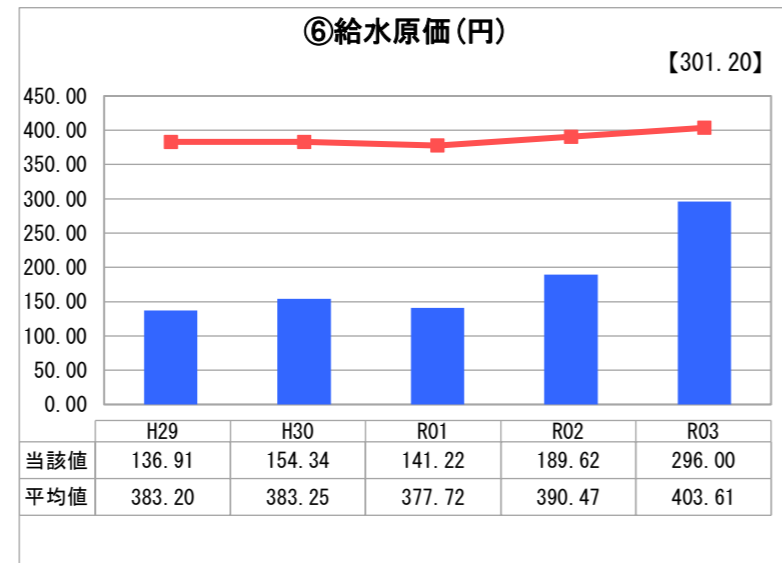
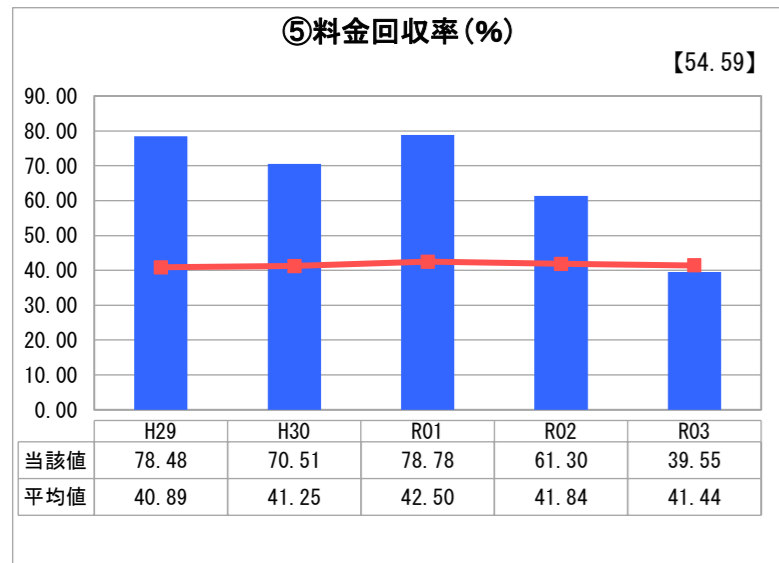
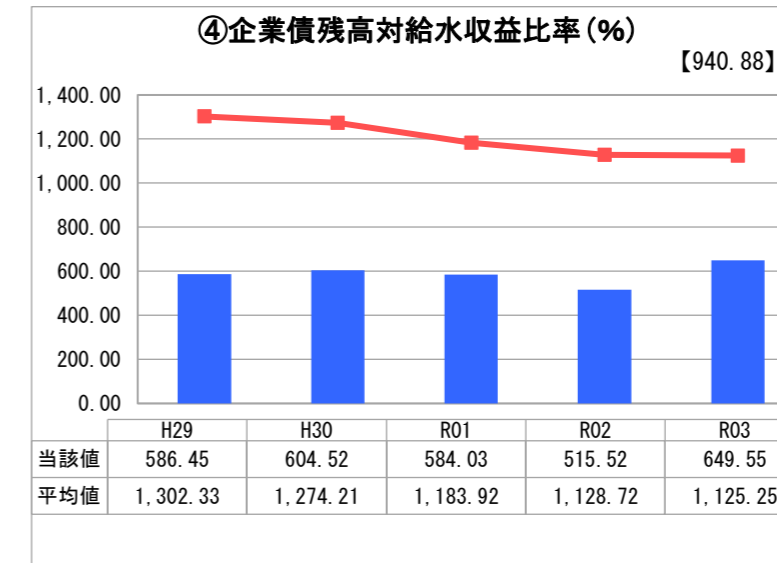
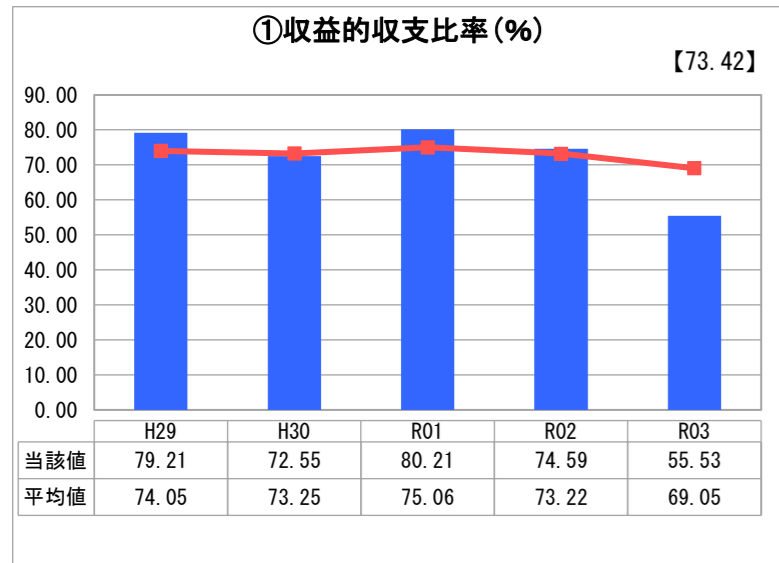
鳥取県 三朝町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	28.78	2,090	

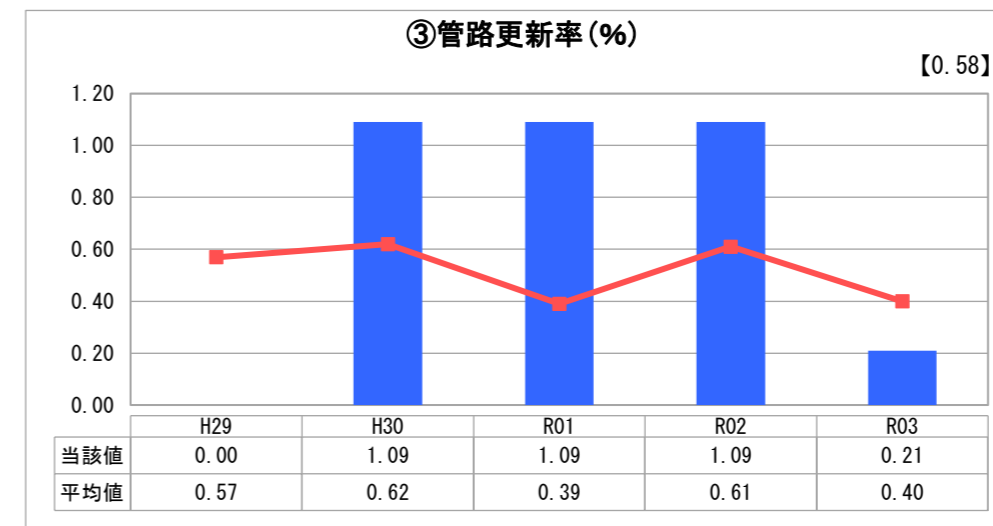
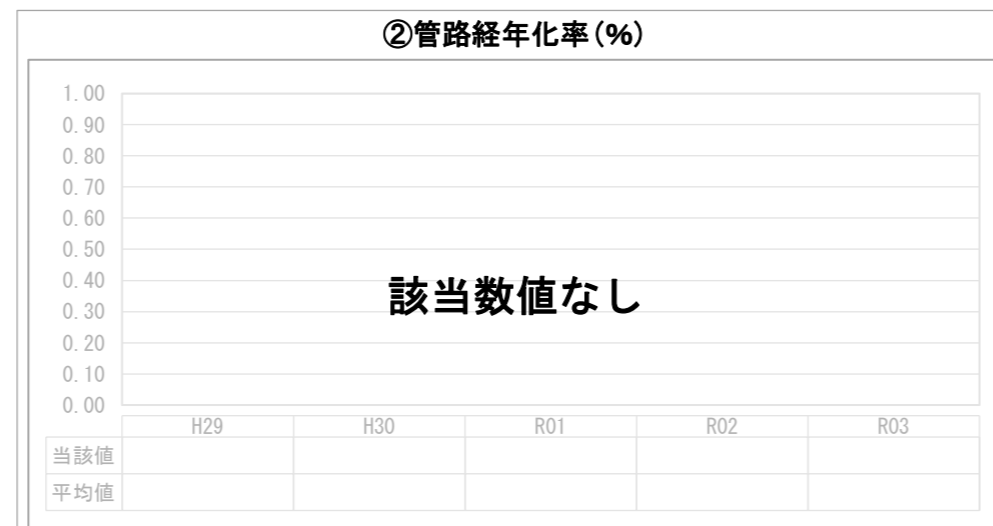
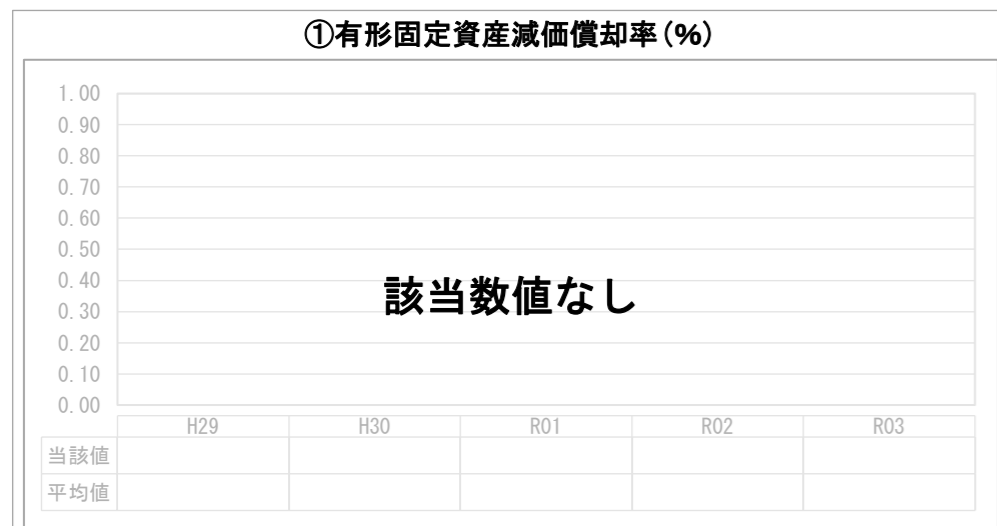
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,189	233.52	26.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,771	191.00	9.27

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

簡易水道事業は山間部を給水区域とするため人口減少の影響を大きく受け、給水収益（有収水量）の減少につながっています。また、整備当初から相当の期間が経過しており、全体的に老朽が進み漏水修理や施設修繕などの費用が年々増加傾向にあります。

このため、①収益的収支比率や⑦施設利用率の減少が加速しつつあり、⑥給水原価も平成29年度からの4カ年平均と比べ約2倍に増加し本町の水道事業給水原価の約2倍となり差が大きくなっています。

2. 老朽化の状況について

年次的に施設全般の整備を実施しており、近年では各配水施設への異常通報装置の設置を進めるほか、老朽度を勘案しながら管路更新を進めています。

なお、施設更新に有利な起債を活用し、後年度の財政負担の軽減にもつなげていきます。

全体総括

経営環境が年々厳しさを増す中で、長期的かつ安定した経営基盤を確立することがより重要となっています。

- ①人口が減少傾向にある中、安定した料金収入を得るため、徴収率向上に加え年次の料金改定を進めます。
- ②安定した水の供給を図るため、老朽施設の更新整備とともに緊急対応時の復旧体制（外部委託等）についても検討を進めます。